



明日もあらかわ ～ 笑顔あふれる 『幸福実感都市あらかわ』を目指して

迎春

新 春 対 談



平成26年新春の区報は、芸能界・芸術界などで大活躍中の片岡鶴太郎さんと西川区長の対談で幕を開けます。荒川区で育った当時の思い出や、故郷への想いを西川区長と共に大いに語って頂きます(内容は2・3面に掲載)。

年 頭 に あ た っ て

荒川区長・特別区長会会長
西川 太一郎
にしがわ たいいちろう

明けましておめでとうございます。区民の皆さまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、政治経済に大きな動きがあった一方で、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定する等、我が国にとっても歴史的な一年となりました。私も特別区長会の代表として、東京の会場で決定の瞬間に立ち会わせて頂きましたが子どもたちに夢と希望を与えるオリンピックが、東京で開催出来ることに歓喜すると共に、開催都市の一員としての責任を実感いたしました。

早速、大会を成功に導き、そして区の活性化に繋げるため「2020年東京オリンピック・パラリンピック荒川区民応援会議」を立ち上げました。海外からの観光客が「成田スカイアクセス」に乗れば、成田空港から最速36分で日暮里駅に到着します。オリンピックを絶好の契機と捉え、東京の玄関口として一層の観光振興に努めてまいります。

さて、早いもので私が区長に就任して10回目の新年を迎えました。これまで区民の皆さまのご期待に応えるため、千に迫る新規・充実事業を実施してまいりました。

「いまやらねばいつできる、わしがやらねばたれがやる」これは、近代日本を代表する彫刻家・平櫛田中氏の努力を確実にするための心構えを語った言葉です。

これからも、首都直下地震に備えた「隅田川の河川水等を活用した永久水利の整備」を始め、国際人を育むための「小・中学校へのタブレット型パソコンの導入」、待機児童ゼロに向けた「保育施設等の整備」等、さまざまな施策を行い、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、本年も全力で区政運営に邁進する所存です。

本年も、区政に対する皆さまのより一層のご理解とご協力をお願いいたしますと共に、素晴らしい一年となることを心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。